

水をいつでも安定して使えるように

蛇口をひねれば
水が出るのは、当たり前
じゃないかなー！



荒川が埼玉・東京の暮らしを支えています

49歳2児の父親、落語家の三遊亭鬼丸です。

さて、今回は水の話。荒川は、埼玉県民と東京都民約1680万人の「暮らしの水」を支えています。

皆さんは、蛇口をひねればいつでも水が出ると思っていますか。実は、川の流量は



いつも節水を心掛けましょう

季節によって大きく変化します。水を安定的に確保するために、上流のダム群や荒川貯水池を運用しています。また、荒川には「首都圏の水がめ」といわれる利根川の水も流れています。驚きですよ！

渇水がたびたび発生しています。普段から水を大切に使いましょう。

川の流量は
季節によって
変化する
んだよ

「暮らしの水」は
「水のいのち」



いっぺん観てごらん！
鬼丸さんのコメント動画はコチラ！
荒川の取材を終えた鬼丸さんを直撃インタビューしました。荒川の今を学び、現場を訪れた鬼丸さんの生の声を動画でご覧ください。



三遊亭鬼丸
×
荒川上流河川事務所

FM NACK5の人気番組「GOGOMONZ」(月～木13:00～16:55)のパーソナリティとして活躍中の落語家・三遊亭鬼丸さんが、荒川上流河川事務所とコラボしました。さいたま市に在住で、荒川の河川敷でゴルフを楽しむんだり散歩したりと、荒川に縁の深い暮らしの鬼丸さんが「荒川の今」を紹介します。

渇水も発生している！
水は大切に
使わなきゃ



荒川第一調節池にある
荒川貯水池「彩湖」

彩湖は都市部にある「平地のダム」です

荒川貯水池「彩湖(さいこ)」は、取り入れた水を渇水時に秋ヶ瀬取水堰の上流へ水道用水として補給します。さらに、荒川の流量が足りない場合には、隣接する浄化施設が下水処理水を浄化して荒川へ放流。その分の水を取水する仕組みです。



利根川の水を荒川へ
運ぶ武蔵水路

利根川の水を荒川へ 武蔵水路と利根大堰



利根川導水総合事業所 で 検索

武蔵水路は、利根川上流の水がめと水道の蛇口をつなぐ大動脈です。利根川の水を荒川へ導水しています。行田市と群馬県邑楽郡千代田町の境、利根川に設けられた利根大堰で取水された水は、荒川の水と合わせて暮らしの水として利用されています。



荒川の上流にある浦山ダム

水を安定的に確保するため 荒川水系4ダムを運用しています

荒川流域は夏に雨が多く、冬は乾燥します。季節によって流量が大きく変化し、渇水もたびたび起こっています。2017年には取水制限が行われました。二瀬ダム、滝沢ダム、浦山ダム、荒川貯水池(彩湖)を運用して、水の安定確保に努めています。

